

# 総会 & 春の共育集会

## 講演「人間らしさを育む学力とは」



梅原 利夫 さん

東京で生まれ、幼少期に福岡市博多で育つ。  
専門は教育課程研究であり、子どもと教師が  
出会う教室へ通い、授業と教育改革を研究。  
3.11以降は被災地に行き、復興教育を探究。  
現在、和光大学名誉教授、民主教育研究所代表。  
教育科学研究会常任委員。

改訂学習指導要領によって英語や道徳が新しい教科となり、子どもたちが遊んだり、体験したり、じっくり物事を考えたりする自由な時間が、益々奪われようとしています。

梅原利夫さんと一緒に考えてみませんか！

奪われていく『子どもの時間』を子どもたちに返すために！



6月17日(日) ウェルとばた 83・84会議室 資料代:500円

総会 13:00～

講演 14:00～16:30

主催:北九州子どもと教育のために手をつなぐ会  
共催:全教北九州市教職員組合

託児のお申し込みは6/7までに

先着10名 要実費  
(詳細はお問い合わせください)

連絡:090(7382)2240 江藤

## 梅原利夫さんから皆さんへ

「学力と人間らしさ」は、誰もが大事なことだと思っているのですが、人や立場によってその中味が大きく変わるのでです。

特に、現在の支配的な教育の政策では、もっぱら「グローバル競争に打ち勝つたくましい日本人」の育成から、学力も人間らしさも考えられ、これが子どもたちに差別や排他的な(他人を蹴落とし自分が這い上がる)競争を強いています。それが、いじめや引きこもりの遠因にもなっています。

では、子どもが自分の存在価値を認め、他者とともに人間らしくなっていく道はあるのでしょうか。あります。その道を、私たちは協力しながら歩んで行きたい、と考えます。

そのためには、人間とは何か、学力とは何か、について

深く学び合い、豊かな捉え方を共有して、

子育てや生活をしていくことだと

思います。



## 梅原利夫さんプロフィール

- \* 東京新宿で生まれ、博多で幼少期を過ごし、その後東京で育ちました。
- \* 大学では生活困窮地域に子ども会活動で通い、人間観の基礎を得ました。
- \* 東京大学工学部で学んでいましたが、次第に関心が人間へと向かい、中退して教育学部へ転学部。その後、東京都立大学大学院へと進み、研究の基礎を築きました。
- \* 専門研究分野は教育課程研究と言い、どうしたら子どもが「わかって楽しい学び」ができるのか、どうしたら先生が「やりがいのある授業」ができるのかを探求しています。
- \* 3.11 大震災後は、被災地の福島と宮城を訪ね、あわせて沖縄にも足しげく通っています。
- \* この3月まで和光大学に39年間勤めて退職、現在は和光大学名誉教授、学校法人和光学園理事を務めています。民主教育研究所で研究者80名と共同研究し、現在は代表。
- \* 主な著書は、『育てよう人間力』『学力と人間らしさをはぐくむ』『新学習指導要領を主体的につかむ』『人間を探す旅』など多数あります。

### 「北九州こどもと教育のために手をつなぐ会」は…

1990年に、子ども達の健やかな成長を願う有志が呼びかけて結成されました。(年会費: 2,500円)

- ①毎月欠かさず会報「手をつなぐ」を発行し、会員同士の情報交流・共有の場としています。
- ②毎年、春と秋に「共育集会」を開催し学習を深めています。
- ③毎年、「ゆきとどいた教育を求める(30人学級実現)署名」に取り組んでいます。
- ④必要に応じて「しゃべり場」を開催して、会員や市民の声を取り上げ考え合っています。
- ⑤教育委員会会議の傍聴(毎月2回)を続け、市民の目線を教委に届けています。
- ◎子育て 孫育ての方 関心をお持ちの方 是非 ご入会ください。お待ちしています!